

# 平成27年度 第2回宇都宮市生涯学習センター運営審議会

日 時：平成27年10月30日（金）  
午前9時30分～

場 所：人材かがやきセンター研修室  
（中央生涯学習センター）

---

## 次 第

---

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

#### （1）報告事項

- ① 平成28年宇都宮市成人式について 資料1
- ② 平成27年度生涯学習センター文化祭について 資料2
- ③ 宇都宮市民大学（前期）の実施状況について 資料3
- ④ 人材かがやきセンター主催講座（前期）の実施状況について 資料4

#### （2）協議事項

- ① 平成28年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について 資料5

### 4 そ の 他

### 5 閉 会

## 平成 28 年宇都宮市成人式について

## 1 目的

宇都宮市成人式は、20歳を迎えた新成人の門出を全市をあげて祝い励ますとともに、参加した新成人の「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むことを目的として実施している。平成28年宇都宮市成人式についても、成人教育の第一歩として教育的意義を持った事業となるよう取り組んでいく。

## 2 主催・実施機関

主催 宇都宮市・宇都宮市教育委員会

実施機関 宇都宮市成人式各中学校区会場実施委員会

## 3 平成 28 年成人式の実施概要

## (1) 日時

平成28年1月10日(日)

## ① 午前開催

受付	午前 9時30分～午前10時00分
成人式典	午前10時00分～午前10時20分
地域交流事業	午前10時20分～正午

## ② 午後開催

受付	午後 1時30分～午後 2時00分
成人式典	午後 2時00分～午後 2時20分
地域交流事業	午後 2時20分～午後 4時00分

## (2) 成人式の内容等

## ① 成人式典

## ・目的

20歳を迎えた新成人の門出を、全市をあげて祝い、励ますもの

## ・内容

開式、国歌斉唱、宇都宮の歌斉唱、激励のことば(市長又は市長ビデオメッセージ)、お祝いのことば(市議会議長又は議長代理)、来賓紹介、誓いのことば(新成人代表)、閉式

## ② 地域交流事業

## ・目的

新成人の「地域社会の一員としての自覚」を促すとともに「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むもの

## ・内容

懇談会、地域の特性を活かした事業、地域の方への謝辞等

## (3) 会場

25中学校区ごとの会場(ホテル・結婚式場 9施設25会場)

別紙参照

(4) 該当者

平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた,本市住民基本台帳に登録されている者

※ ただし,本市出身者で市外に転出した等,本市の成人式への出席を希望する者も対象とする。

(5) 出席者推計

- ・ 該当者 (当時の中学校卒業生数)  
4, 737人
- ・ 出席者 (該当者×前回出席率)  
3, 882人

(6) 来賓

- ・ 市長招待者  
国会議員, 県議会議員, 市議会議員, 市社会教育委員, 市生涯学習センター運営審議会委員
- ・ 実施委員長招待者  
各実施委員会で決定


(7) 運営体制

- ・ 実施委員会  
中学校区ごとに実施委員会を組織し,成人式の企画運営を行う。  
実施委員の構成は,当該中学校区内の新成人及び社会教育関係団体構成員等による(20名程度)
- ・ 事務局  
各生涯学習センターが事務局を担う。

4 その他

- ・ 生涯学習センター運営審議会委員の皆様には,例年通り市長招待者として成人式にご出席をお願いしたいと考えております。
- ・ なお,ご出席いただく会場につきましては,招待状(12月上旬頃発送)に同封の出欠はがきにより,ご希望の会場をお知らせいただく予定となっております。

## 平成28年成人式会場等一覧

 : 昨年からの変更部分

中学校区	推定 該当者 数	推定 出席者 数	推定 来賓者 数	合計	実施会場		担当生涯学習センター
					午前開催	午後開催	
一条	103	<b>86</b>	33	119		護国会館	中央生涯学習センター
陽北 県立のざわ特別支援学校 県立わかさ特別支援学校	215	<b>171</b>	21	192		ホテル東日本宇都宮	同上
旭	146	<b>117</b>	28	145	護国会館		同上
陽南	264	<b>220</b>	38	258	宇都宮東武ホテルグランデ		南生涯学習センター
陽西 作新学院中等部 宇短大附属中学校 文星芸大附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇大附属特別支援学校	412	<b>331</b>	45	376		宇都宮グランドホテル	西生涯学習センター
星が丘 宇大附属中学校	370	<b>305</b>	36	341	宇都宮東武ホテルグランデ		北生涯学習センター
陽東 宇東高附属中学校	368	<b>306</b>	42	348	ホテルニューイタヤ		東生涯学習センター
泉が丘	257	<b>213</b>	31	244		ホテルニューイタヤ	同上
宮の原	214	<b>188</b>	29	217	宇都宮グランドホテル		西生涯学習センター
清原 海星女子学院中学校	247	<b>176</b>	30	206		二荒山会館	清原生涯学習センター
横川	157	<b>132</b>	21	153		ホテルマイステイズ宇都宮	横川生涯学習センター
瑞穂野	82	<b>70</b>	22	92	宇都宮グランドホテル		瑞穂野生涯学習センター
豊郷	186	<b>164</b>	26	190	ホテル東日本宇都宮		豊郷生涯学習センター
国本	113	<b>96</b>	26	122		ホテル東日本宇都宮	国本生涯学習センター
城山	109	<b>90</b>	22	112		コンセーレ	城山生涯学習センター
晃陽 県立富屋特別支援学校	96	<b>83</b>	23	106	ホテル丸治		篠井・富屋 生涯学習センター
姿川	213	<b>167</b>	26	193	コンセーレ		姿川生涯学習センター
雀宮	201	<b>161</b>	30	191	二荒山会館		雀宮生涯学習センター
鬼怒	201	<b>161</b>	28	189	ホテルマイステイズ宇都宮		平石生涯学習センター
宝木	124	<b>101</b>	23	124		宇都宮東武ホテルグランデ	北生涯学習センター
若松原	226	<b>179</b>	23	202		宇都宮東武ホテルグランデ	南生涯学習センター
上河内	98	<b>74</b>	17	91	ホテル東日本宇都宮		上河内生涯学習センター
古里	133	<b>121</b>	18	139	ホテルニューイタヤ		河内生涯学習センター
田原	114	<b>95</b>	22	117		ホテルニューイタヤ	同上
河内 県立岡本特別支援学校	88	<b>75</b>	15	90	ホテルマイステイズ宇都宮		同上
計	4,737	<b>3,882</b>	675	####	14会場	11会場	

開催日	平成28年1月10日(日曜日)		成人式該当者
開催時間	午前開催	午後開催	平成7年4月2日～平成8年4月1日の間に出生した次の何れかに該当する者 1 本市住民基本台帳に登録されている者 2 1以外で、本市成人式への出席を希望する者
受付	午前9時30分～10時	午後1時30分～2時	
式典	午前10時～10時20分	午後2時～2時20分	
記念事業	午前10時20分～正午	午後2時20分～4時	

## 平成27年度生涯学習センター文化祭開催概要

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
中央生涯学習センター	中央生涯学習センター登録団体として活動している文化団体が、日頃の活動成果を発表することにより、団体間の交流を図りながら、文化活動の向上と地域活動を推進し、より多くの市民がこれを発信することにより、連帯意識を高め生涯学習並びに地域活動の促進を図る。	中央生涯学習センター・中央市民活動センター文化祭実行委員会	ギャラリー展示 (刻字彫、写真、俳句、短歌、川柳、日本画、水墨画、洋画、書道、ちぎり絵、工芸、いけばな、絵手紙、おりがみ、布ぞうり、布絵、手づくりバックなど)	10月23日(金)～25日(日)	中央生涯学習センター まちかど広場
			社交ダンスの集い	10月23日(金)	
			ホール発表 (フォークダンス、フラダンス、民舞、四つ竹おどり、日舞、吟詠剣舞詩舞、合唱、合奏、手話コーラス、朗読、大正琴、カンツォーネ、フルートアンサンブル、社交ダンス、琵琶と語りなど)	10月24日(土)～25日(日)	
			模擬店・似顔絵コーナー・クイズラリーなど	10月23日(金)～25日(日)	
東生涯学習センター	宇都宮市東生涯学習センターで活動している各種団体及び地域コミュニティセンターを中心に活動する団体が、日頃の活動成果を発表することにより、団体間の交流を図り、連帯意識を高め生涯学習並びに地域活動の促進を図る。	東生涯学習センター文化祭実行委員会	作品部門 (書道、パステル画、油絵、絵てがみ、アイデア作品、川柳、編み物など)	10月24日(土)～25日(日)	東生涯学習センター
			ステージ部門 (合唱、フォークダンス、フラダンス、オカリナ合奏、吟詩舞、大正琴、弦楽合奏など)	10月25日(日)	

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
西生涯学習センター	西生涯学習センター登録団体として活動している各種団体が一体となって諸事業を展開し、その成果を展示、発表することにより、特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター文化祭実行委員会	サークル発表会 (合唱、大正琴、太極拳、フラダンス、よさこいなど)	11月14日(土)	西生涯学習センター
			特別講演会 「ハンドベルコンサート」 ～秋空に舞う綺麗な音色～	11月14日(土)	
			作品展示 (書道、水墨画、拓版画、手工芸、俳句、絵手紙など)	11月14日(土)～15日(日)	
			模擬店 (野菜、手打ちそば、けんちんうどん、焼きそば、ヨーヨー釣り、くじなど)	11月14日(土)～15日(日)	
			参加体験 (骨密度測定・スタンプラリーなど)	11月15日(日)	
			野外ステージ (園児・児童による子どもステージ・ローカルヒーローアクションショー・ビンゴ大会など)	11月15日(日)	
			創作体験(布ぞうりストラップ)	11月15日(日)	
南生涯学習センター	南生涯学習センター対象地域内における各種団体が一体となって諸事業を展開し、その成果を展示、発表することにより、特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	南生涯学習センター文化祭実行委員会	作品展 (絵画、書道、ペン字、俳句、短歌、工芸、彫塑、写真、手芸、生花、盆栽など)	①10月24日(土)～25日(日) ②10月30日(金)～11月1日(日) ③11月7日(土)～8日(日)	①緑が丘コミセン ②陽光コミセン ③南生涯学習センター
			模擬店	11月7日(土)	南生涯学習センター
			演芸フェスティバル (合奏、合唱、民謡、詩吟、謡曲、日本舞踊、邦楽、ダンス、太極拳など)	11月15日(日)	南生涯学習センター

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
北生涯学習センター	北生涯学習センター対象地域内における各種団体が一体となって諸事業を展開し、その成果を展示、発表することにより、特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	北生涯学習センター文化祭実行委員会	作品展 (絵画、書道、篆刻、絵手紙、日光彫、生け花、手芸など)	9月26日(土)～27日(日)	北生涯学習センター
			模擬店、(お茶席、地元農産物、そば、綿あめなど)		
			社交ダンスフェスティバル	9月28日(月)	とちぎ福祉プラザ
			30周年記念演奏会 宇都宮エスペール賞受賞 吉澤延隆 箏コンサート 演芸発表会 (合唱、太極拳、大正琴など)	9月29日(火)	
平石生涯学習センター	地域における文化基盤の向上と地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	平石地区文化祭実行委員会	特別講演会 仮称「栃木SCに育ち」栃木に感動を	11月7日(土)	平石生涯学習センター
			作品展 (絵画、写真、書道、華道、日光彫など)	11月7日(土)～8日(日)	
			サークル発表 (民舞、合唱、フラダンス、吹奏楽など)	11月8日(日)	
			模擬店 ※農業祭同時開催 ペタンク、ゲートボール大会		平石中央小学校校庭
清原生涯学習センター	清原地区で暮らす人たちが日々取り組んでいる文化活動の展示・披露や地区内で生産されている農産物の紹介を通じて、地域文化の更なる発展と地区内外の連帯意識の向上を図ることを目的とする。	清原地区文化祭・農業祭実行委員会	作品展 (絵画、写真、粘土人形、押し花、生け花など) サークル発表 (合唱、大正琴、民謡、など) 模擬店、相談コーナーなど ※農業祭同時開催	10月24日(土)～25日(日)	清原生涯学習センター

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
横川生涯学習センター	地区住民の「思いやる心」「学ぶ心」「ふれあう心」の高揚を図るとともに、「ふるさと横川」の地域文化と自治意識の向上を図ることを目的とする。	横川ふれあいまつり実行委員会	軽スポーツの祭典	11月7日(土)	横川生涯学習センター
			作品展 (書道, 絵画など)	11月7日(土)~8日(日)	
			思いやりの広場:健康づくりをテーマにしたイベント		
			サークル発表 (フラダンス, 太極拳など)	11月8日(日)	
			演芸大会(カラオケなど)		
			模擬店 (横川産宮牛串焼きなど)		
			横川産宮牛肉入りカレー 無料配布など		
※農業祭合同開催					
瑞穂野生涯学習センター	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進, 地域による主体的な地域づくりの推進, 及び地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	みずほのフェスティバル実行委員会	作品展 (絵画, 絵手紙, 日光彫, 書道, パッチワーク, 写 真, 短歌, 籐工芸, 編物な ど)	11月21日(土)~22日(日)	瑞穂野生涯学習センター
			演芸会 (民謡, 舞踊, オーケスト ラ, カラオケ, 童謡, よさこ い, フォークダンスなど)	11月22日(日)	
			さんま祭, 模擬店, お茶会 など		
			農業祭, 福祉まつり同時 開催		
城山生涯学習センター	地域住民の自主性と創意によるコミュニ ティ活動を促進し, 特色ある地域文化の 向上発展と生涯学習の推進, 地域住民 の連帯意識の高揚を図ることを目的と する。	城山地区文化祭・農業祭実行 委員会	作品展	10月31日(土) ~ 11月1日(日)	城山生涯学習センター
			しろやま映画祭	10月31日(土)	
			ホールアトラクション, 模擬 店, しろやま検定, マッ サージュコーナー, 読み聞 かせ, ダンスパーティーな ど ※農業祭合同開催	11月1日(日)	



	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
国本生涯学習センター	国本地区各種団体・小中学校・国本生涯学習センター利用団体の活動内容を地域住民にPRするとともに、広く参加を呼びかけることにより、連帯意識の高揚及び文化の向上を図ることを目的とする。	くにもまつり運営委員会 くにもまつり文化祭実行委員会	作品展 (書道, 絵画, 絵手紙, 編み物, 地区内小中学校児童・生徒による絵画, 書道など) 地元の歴史・文化の展示, 発表など ホール発表 (カラオケ, 書道, 日舞, ハワイアンなど) 玄関前広場発表 (地区内小中学校児童・生徒による宗円獅子舞, 南中ソーラン, 吹奏楽など) 屋外催事 (むかし遊び, 健康・福祉コーナーなど) ※農業祭合同開催 ダンスパーティー	11月7日(土)~8日(日) 11月7日(土) 11月8日(日)	国本生涯学習センター
富屋生涯学習センター	地域文化の向上発展と地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的として実施する。	富屋地区市民センター文化祭実行委員会	作品展 (絵画, 書道, 手芸など) サークル発表 (フラダンス, 和太鼓, 空手演武, 大正琴など) ダンスパーティー	10月31日(土)~11月1日(日) 11月1日(日) 11月1日(日)	富屋生涯学習センター
豊郷生涯学習センター	豊郷地区内の各種団体が一体となって、特色ある地域文化の向上並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進及び地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	豊郷まつり実行委員会(文化祭)	文化・生涯学習部門 作品展 (書道, 生け花, 洋裁, 押し花, 俳句, 日光彫など) スポーツ体験 サークル発表 (カラオケ, 楽器演奏, フラダンス, 民謡, ウクレレ, 太極拳など) 講演会 農業・福祉部門(農作物販売, 子どもたちの農業体験成果発表, 福祉施設の成果物販売, バザー, 子ども神輿, 各種団体による模擬店など)	平成28年1月28日(木)午後~31日(日) 平成28年1月31日 11月8日(日)	豊郷生涯学習センター JAうつのみや豊郷

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
篠井生涯学習センター	篠井生涯学習センター対象地域住民総ぐるみにより文化祭事業を展開し、地域文化の向上発展と生涯学習推進、地域住民の連帯意識の高揚を図り、ゆたかで活力あるまちづくりに寄与することを目的とする。	篠井の文化祭実行委員会	作品展 (絵画, 工芸, 書, 写真, 手芸, 生花, 短歌など)	11月2日(月)～3日(火)	篠井生涯学習センター
			ホール発表 (合唱, フラダンス, カラオケ, 読み聞かせなど)	11月3日(火)	
			アトラクション (郷土芸能, よさこいソーラン, 吹奏楽, 和太鼓など) ※アトラクションは秋祭りと共に開催	11月3日(火)	篠井生涯学習センターグラウンド
姿川生涯学習センター	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	姿川地区文化祭実行委員会	作品展 (絵画, 日光彫, 写真, 押し花, フラワーアレンジメントなど)	11月7日(土)～8日(日)	姿川生涯学習センター
			サークル発表 (太極拳, 合唱, ウクレレ, 日本舞踊, カラオケ, フラダンス, フォークダンス, 手話など)		
			イベント (お茶会, ダンスパーティー, *囲碁大会など)	11月7日(土)～8日(日)	
			スポーツ大会 (輪投げ大会, 卓球大会, なわとび大会, *バドミントン大会)	11月7日(土)～8日(日) 11月15日(日)	姿川生涯学習センター附属体育館, 姿川中学校校庭

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
雀宮生涯学習センター	この事業は、「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地域文化祭・収穫祭実行委員会	作品展(絵画, 日光彫, 写真, ステンドグラスなど) 地区内小・中・高等学校児童・生徒(絵画, 書道, ロボットなど)	11月7日(土)~8日(日)	雀宮生涯学習センター
			アトラクション(お囃子, フォークダンス, 小中学校ソーラン・吹奏楽・合唱, 太極拳, フラダンス, 雀宮音頭など)	11月8日(日)	
			模擬店, バザー ※収穫感謝祭合同開催		
			イベント (お茶会, 親子映画会, 子どもイベント広場など)		
			雀宮史跡めぐり		
上河内生涯学習センター	上河内生涯学習センター地域内における各種団体や学校等が一体となって諸事業を展開し, その成果の展示, 発表及び相互交流により, 地域の芸術文化向上並びに生涯学習の推進, 地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	上河内地域文化祭実行委員会	作品展 (幼稚園・保育園児作品, 小学生・中学生作品, 手編み, 華道, 絵手紙, 美術, パッチワーク, 日光彫りなど)	11月7日(土)~8日(日)	上河内体育館ほか
			サークル発表 (カラオケ, 舞踊, 昔語り, よさこい, ダンス, コーラス, ヒップホップダンスなど)	11月7日(土)	上河内体育館
			体験コーナー (茶道, パソコン, 絵手紙作り, 3B体操など)		上河内生涯学習センター

	趣旨	主催	事業内容	日程	会場
河内生涯学習センター	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	河内地域文化祭実行委員会	作品展示 (文芸, 写真, 絵手紙, 押花, いけばな, 盆栽, 日光彫, 篆刻, 草木染, 絵画, 活動発表, 木彫, 手芸作品, 書道, 陶芸, 和紙押し絵, 児童絵画, 竹工芸, 籐工芸, ちぎり絵, 幼稚園児作品, 小・中学生作品など)	10月31日(土)~11月1日(日)	河内体育館
			芸能音楽祭 (よさこい踊り, 童謡コーラス, 大正琴, 民謡 コーラス, 吟詠, フラダンス, 箏曲, カラオケ, 舞踊, 太極拳, オカリナ, 吟詠剣詩舞, 楽器演奏, お囃子, 健康おどりなど)		河内生涯学習センター
			催事(茶席, パソコン体験教室, 創作・体験, 模擬店など), 企画展など		河内生涯学習センター

生涯学習センターにおける文化祭日程表

資料2-参考1

9月～1月

月	火	水	木	金	土	日
9月21日	9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日 北	9月27日
9月28日 北	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日
10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日
10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日 中央 東 南① 清原	10月25日
10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日 南② 城山 富屋 河内	11月1日
11月2日 篠井	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日 南③ 平石 横川 国本 姿川 雀宮 上河内	11月8日 豊郷
11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日 西	11月15日 南④
11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日 瑞穂野	11月22日
11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	11月29日
平成28年1月						
1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日	1月30日 豊郷	1月31日

## 平成27年度 地区文化祭等開催関係一覧

所属 (地区)名	開催日時		文化祭・イベント等の 名称	会 場	備 考
	開催日	時間			
陽 南	9/12(土)・ 13(日)	10:00～16:00(12日) 9:30～14:00(13日)	陽南ふれあいまつり	陽南小学校(校庭・体育館)・陽南地域コミュニティセンター	13日は敬老会式典あり
中 央	10/3(土)・ 4(日)	13:00～16:00(3日) 9:00～16:00(4日)	秋桜祭	中央小学校(体育館)	
昭 和	10/24(土)	10:00～15:00	昭和まつり2015	昭和小学校校庭・体育館	
宮の原	10/24(土)	10:00～14:00	宮の原地区文化祭	宮の原小学校・宮の原地域コミュニティセンター	
明 保	10/24(土)	9:00～16:00	明保地区文化祭	明保地域コミュニティセンター	
城 東	10/24(土)・ 25(日)	10:00～15:00(24日) 9:00～14:00(25日)	城東文化祭	城東小学校(校庭・体育館)・城東地域コミュニティセンター	
緑が丘	10/24(土)・ 25(日)	9:30～15:00(24日) 9:30～12:00(25日)	緑が丘コメンまつり	緑が丘小学校(校庭)・緑が丘コミュニティセンター	
陽 光	10/30(金)～ 11/1(日)	9:30～16:00(30・31日) 9:30～15:00(1日)	陽光地区文化祭	陽光地域コミュニティセンター	最終日1日は模擬店出店
東	10/31(土)・ 11/1(日)	10:00～15:00(31日) 10:00～14:00(1日)	トーコー文化祭	東地域コミュニティセンター	
築 瀬	10/31(土)・ 11/1(日)	10:00～15:00 (霜月祭31日)	築瀬地区文化祭in霜月祭	築瀬小学校・築瀬地域コミュニティセンター	
泉が丘	10/31(土)・ 11/1(日)	9:00～15:00(31日) 9:00～15:00(1日)	泉が丘地区文化祭	泉が丘小学校(体育館ほか)・泉が丘地域コミュニティセンター	
戸 祭	10/31(土)・ 11/1(日)	10:00～16:00(31日) 10:00～14:30(1日)	第11回戸祭フェスタ	戸祭地域コミュニティセンター・戸祭小学校(校庭・体育館)	10/31・11/1:作品展示 11/1:模擬店(10:00～14:00), 抽選会(14:00～14:30)
陽 東	11/3(火)	9:30～14:00	陽東祭(未定)	陽東小学校(校舎・体育館)・陽東地域コミュニティセンター	
御幸が原	11/7(土)	9:00～10:00 10:00～14:00	防災訓練 御幸ヶ原地域まつり	御幸が原小学校(校庭・体育館)・御幸が原地域コミュニティセンター	
桜	11/7(土)	9:00～15:00	桜地域文化祭	桜地域コミュニティセンター・桜小学校(校庭・体育館)	
峰	11/7(土)	9:30～14:30	峰地区文化祭	峰小学校(校舎・体育館)・峰地域コミュニティセンター	
石 井	11/7(土)	10:00～14:00	石井地域コメン文化祭	石井地域コミュニティセンター・石井小学校(校庭)	PTA秋祭り・活力あるむらづくり・ コメン文化祭
富士見	11/7(土)・ 8(日)	10:00～15:00(7日) 9:00～12:00(8日)	富士見地域文化祭	富士地域コミュニティセンター・富士見小学校(校庭)	
宝 木	11/8(日)	10:00～14:00	宝木まつり	宝木地域コミュニティセンター・宝木小学校(校庭)	全自治会及び各種団体による模擬店 コメン利用者による作品展示
御 幸	11/8(日)	10:00～14:00	御幸地区文化祭・作品展	御幸小学校(校庭・体育館)	
西 原	11/14(土)・ 15(日)	9:00～17:00(14日) 9:00～15:00(15日)	西原地区作品展	西原地域コミュニティセンター	
五代若松原	11/14(土)・ 15(日)	13:00～17:00(14日) 10:00～14:00(15日)	五代・若松原地区文化祭	五代若松原地域コミュニティセンター	作品展のみ
今 泉	11/21(土)	9:00～14:30	今泉コメンまつり ・作品展・発表会	今泉地域コミュニティセンター・今泉小学校(校庭)	PTA文化祭と同日開催
錦	11/26(木)～ 28(土)	10:00～16:00(26・27日) 10:00～14:00(4日)	錦文化祭	錦地域コミュニティセンター	
今 泉	2月ごろ	9:00～14:30	今泉コメン文化祭 作品展	今泉地域コミュニティセンター	

## 宇都宮市民大学（前期）の実施状況について

## ◎ 趣旨

平成27年度宇都宮市民大学(前期講座)の実施状況について報告するもの

## 1 合同開講式・公開講座

- (1) 日 時 平成27年5月26日(火) 午後2時～午後4時
- (2) 会 場 宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス4階 大講義室
- (3) 内 容 ・合同開講式  
 ・公開講座 演題 「住めば愉快だ宇都宮」に向けた都市ブランド戦略  
 講師 古池 弘隆 氏  
 (宇都宮共和大学 都市経済研究センター長・教授 宇都宮ブランド推進協議会 会長)
- (4) 受講者数 171名

## 2 専門講座

No.	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 【宇都宮共和大学連携講座】 足もとから宇都宮を考えよう ～まちづくりの過去・現在・未来～ (全7回)	宇都宮共和大学 シティライフ学部 学部長・教授 山島 哲夫 氏 教授 鈴木 健一 氏 教授 吉田 肇 氏 専任講師 松田 さおり 氏 都市経済研究センター 客員研究員 鈴木 智 氏 子ども生活学部 准教授 高柳 恭子 氏	6/5 ～ 7/10	(40) [41] 37	33 (89.2%)
2	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 中世宇都宮氏 興亡の400年 (全8回)	栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫 氏	6/1 ～ 7/13	(50) [145] 67	57 (85.1%)
3	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 伝統産業の魅力を探る ～今に続く匠の技～ (全7回)	石井河岸菊池記念歴史館 館長 菊池 芳夫 氏 栃木県立博物館 主任研究員 岡本 直人 氏 宇都宮大学 教育学部 准教授 佐々木 和也 氏 ニッカウキスキー株式会社 栃木工場長 牧野 弘明 氏 宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 柏村 祐司 氏	6/2 ～ 7/7	(50) [79] 45	40 (88.9%)
4	II 今を読み解く現代社会コース 元気シニアのインターネット活用法 ～デジタル社会を賢く生き抜くために～ (全8回)	宇都宮大学 工学部 教授 渡辺 裕 氏 NPO法人 栃木県シニアセンター 代表理事 荒川 恒昭 氏 株式会社ユーキャン 東京都市大学 メディア情報学部 准教授 李 洪千 氏	6/4 ～ 7/16	(50) [50] 43	35 (81.4%)
5	III 暮らしを彩る教養コース 目からうるこの楽しい物理 ～日常生活の中にある物理的事象を考 える～ (全8回)	宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏	6/5 ～ 7/17	(40) [60] 51	42 (82.4%)
6	III 暮らしを彩る教養コース 『平家物語』を読み解く ～生と死の軌跡をめぐって～ (全6回)	早稲田大学 名誉教授 日下 力 氏	6/2 ～ 6/30	(50) [125] 86	77 (89.5%)
計				(280) [500] 329	284 (86.3%)

※ 各専門講座の(開講数)は、「合同開講式・公開講座」を1回分として含む

※ 修了者数は、4分の3以上の出席者

### 3 後期講座

(1) 合同開講式

- ア 開催日時 平成27年10月27日(火) 午後2時～午後2時20分  
 イ 会場 帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟 大講義室

(2) 公開講座

- ア 開催日時 平成27年10月27日(火) 午後2時30分～午後4時  
 イ 会場 帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟 大講義室  
 ウ 演題 肩こりはもうこりごり! ～背骨の運動で肩こりをなくそう～  
 エ 講師 帝京大学 医療技術学部 准教授 白石 聖 氏

(3) 専門講座

- ア 開催期間 平成27年10月～12月  
 イ 開催回数 7回～8回(公開講座1回を含む)

後期専門講座

No.	講座名 (開講数)	開催期間 (開催曜日・時間)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 下野に咲いた仏教文化I ～古代・中世・近世の仏像～ (全7回)	11月5日～12月10日 (木曜日 午前)
2	II 今を読み解く現代社会コース 若々しい脳で年齢を愉しみませんか (全8回)	11月2日～12月21日 (月曜日 午前)
3	II 今を読み解く現代社会コース 心豊かに「人生90年時代」を生きる ～笑い笑顔で健康な暮らしを～ (全8回)	11月6日～12月18日 (金曜日 午前)
4	II 今を読み解く現代社会コース 健康寿命を延ばすコツ ～足・腰からはじまる健康～ (全8回) <b>【帝京大学連携講座】</b>	11月10日～12月22日 (火曜日 午前)
5	III 暮らしを彩る教養コース 郷土が誇る美術作家たち (全8回)	11月5日～12月17日 (木曜日 午後)
6	III 暮らしを彩る教養コース ここまで来た 人に役立つロボット ～ロボットと拓く明日の社会～ (全8回)	11月6日～12月18日 (金曜日 午後)

※ 講座の実施会場は、人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)

※ 各専門講座の(開講数)は、「公開講座」を1回分として含む

※ 午前⇒午前10時から正午, 午後⇒午後2時から午後4時



## 人材かがやきセンター主催講座（前期）の実施状況について

## ◎ 趣 旨

平成27年度人材かがやきセンター主催講座（前期）の実施状況について報告するもの

## 1 実施状況

- (1) 開催日時 平成27年6月5日（金）～平成27年9月12日（土）  
 (2) 実施講座 7講座（全1回～全8回の講座）  
 (3) 受講者数 406名

## 2 前期講座実績一覧

No.	講座名（開講数）	講座概要	講師	開催日	受講者数
1	宮の朝活 ～朝活で愉快だ宇都宮～ （全5回）	日頃、多忙な20代から40代の学生や主婦、ビジネスマンなどを対象に、早朝の時間帯を活用して学習機会を提供する講座。就労世代に関心が高い分野や時事問題等の講義のほか、朝食を取りながら受講者同士の異業種間交流なども図る。	①作新学院大学 経営学部 准教授 笠原 彰 氏 ②帝京大学 経済学部 教授 黒崎 誠 氏 ③宇都宮大学 地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 氏 ④宇都宮共和大学 シティライフ学部 専任講師 吉良 貴之 氏 ⑤宇都宮市長 佐藤 栄一 氏	①6/5 ②6/12 ③6/19 ④7/3 ⑤7/17	定員 40 申込者 58 受講者 56
2	宇都宮ゆかりの偉人 ～蒲生君平の生き方や考 え方に学ぶ～ （全2回）	宇都宮市出身で栃木県の三偉人の一人である蒲生君平について、『山陵志』や『不恤緯』などに書かれた内容から生き方や考え方を学び、人間力を高めるヒントとするとともに、館外学習などを通して郷土愛の醸成を図る講座	①宇都宮市立晃陽中学校副校長 博士(文学) 阿部 邦男 氏 ②郷土歴史研究家 事務局長 小林 暁雲 氏	①6/24 ②7/1	定員 30 申込者 60 受講者 54
3	講座企画・運営ボランティア スタッフ(Vスタッフ)養成 講座 第1部 （全8回）	宇都宮市民大学や生涯学習センターなどにおいて、市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画・運営を担う人材を養成する講座	①宇都宮大学 地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 氏 ②～⑧宇都宮市社会教育主事	①6/25 ②7/1 ③7/8 ④7/15 ⑤7/21 ⑥7/29 ⑦8/5 ⑧8/19	定員 16 申込者 10 受講者 8
4	わたしたちの子どもの未来 ～「子どもの貧困」から考える～ （全3回）	主任児童委員や青少年指導員らを対象に、喫緊の社会問題である「子どもの貧困」について理解を深めるとともに、今後どのようなことができるのかについて考える講座	①立教大学コミュニティ福祉学部 教授 湯澤 直美 氏 ②下野新聞社 編集局社会部 記者 石田 聡 氏 ③特定非営利活動法人(NPO) 「だいじょうぶ」 理事長 畠山 由美 氏	①7/15 ②7/22 ③7/29	定員 50 申込者 59 受講者 57
5	アンガーマネジメント講座 ～アドラー心理学の視点から～ （全2回）	昨今、話題のアドラー心理学の視点を取り入れながら、「怒り」のメカニズムを理解し、さらにコントロールする手法を学ぶことで、自己理解や職場・家庭での実践につなげる講座	①②金城学院大学 人間科学部 教授 日詰 慎一郎 氏	①8/3 ②8/10	定員 30 申込者 60 受講者 55

6	<p>【親学スペシャル】 家庭教育支援者のための 「子育てハッピーアドバイス」 (全1回)</p>	<p>高度で専門的な知識をもつ著名な講師を迎え、様々な事例をもとに子どもの自己肯定感の育成や発達段階に応じた接し方などを学ぶ講座</p>	<p>①医師・スクールカウンセラー 明橋 大二 氏</p>	<p>①8/1</p>	<p>定員 150 申込者 151 受講者 133</p>
7	<p>ともに幸せに生きていく ～セクシュアル・マイノリティ を知る～ (全2回)</p>	<p>偏見や差別を受けることが多い「セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」について学ぶことで、理解を深め、多様な価値観を認め合う共生社会の重要性を考える講座</p>	<p>①宇都宮大学 教育学部 准教授 良 香織 氏 ②非営利活動団体 S-P E C 代表 佐藤 さえ子 氏</p>	<p>①9/5 ②9/12</p>	<p>定員 40 申込者 44 受講者 43</p>

## 平成28年度生涯学習センター事業運営の考え方

### (1) 生涯学習センターの役割と課題

本市の生涯学習センターは、第2次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念である「学びを通して、豊かな人間性と人と人の絆を育み、地域ぐるみにより、教育活動やまちづくりを支える社会を実現する。」ため、地域を支える市民一人ひとりが自己の自立と社会の一員であることを意識し、社会参加への意欲を高めるような事業や学んだ成果を地域につなぐきっかけとなる事業運営に取り組んでいく役割を担っている。

こうしたことから、本市を取り巻く社会情勢が様々な形で変化し、家庭・地域の教育力の低下などが懸念される中、生涯学習センターには「超高齢社会」、「子育て・子育て環境の変容」、「格差社会や勤労観の変容」、「規範意識・社会性の低下」、「地域コミュニティの変容」など、人づくりやまちづくりにおいて早急に取り組むべき課題に対応するための講座を、関係部局や関係機関等との連携を図りながら着実に展開していくことが求められている。

また、東日本大震災の経験を通じて、自ら考え行動する力や地域の絆や人と人のつながりの重要性が再認識されたことにより、個々人が積極的に社会に参画し、他者と協働しながら、主体的に「互助・共助」による活力ある地域づくりに貢献していこうとする気運の高まりが見られることから、こうした気運を持続的なものにするため、地域団体等と連携を図りながら地域課題の解決や地域の活性化など、地域づくりの取組を促進するための学習機会の充実に取り組んでいく必要がある。

### (2) 事業運営のポイント

全ての生涯学習センターの事業運営にあたっては、「生涯学習センターの役割と課題」を踏まえながら「人材かがやきセンター」、「市民大学」との各種事業が担う領域の特徴<sup>\*</sup>に基づき、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら多様な事業を推進するとともに、市民の生涯学習ニーズに応じた相談と支援を行う。

なお、講座等事業の企画・運営にあたっては、事業内容を考慮した開催日時や学習手法の検討、託児の充実など、引き続き受講環境を整備することにより、多くの市民が参加できるよう努めるとともに、地域の各種団体や企業などとの積極的な連携に取り組む。

※別紙資料…各種生涯学習講座が担う領域のイメージについて

### (3) 重点的に取り組む事業

#### ア 人間力の向上に資する事業の充実

市民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる仲間づくりに繋がる、趣味・教養的な講座を実施するとともに、引き続き地域課題や生

# (案)

活課題に対応する講座の拡充を図る。特に社会の要請に対応した講座の実施にあたっては、講座のテーマの専門知識を有する関係課との連携や共催、県の事業の活用等、効果的な学習機会の提供に取り組む。

◇評価指標 ⇒ 趣味・教養的な講座数、個人の自立を促すための講座数、  
社会の要請に対応した講座数

## イ 家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実

「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座などを実施する。実施にあたっては子育て中の親の仲間づくりにつながるよう、参加交流機会の充実に努める。

また、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るとともに、学校、企業、地域団体や家庭教育支援者とのより一層の連携・協力を図り、家庭と地域が抱える課題の解決に資する事業の充実に努める。

◇評価指標 ⇒ 子育て世代対象講座数、学校や企業、地域団体との連携講座数

## ウ 学習情報拠点としての充実

市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、生涯学習センターは地域の学習情報の拠点として、積極的な情報収集や提供とともに生涯学習センターの情報共有を行い、学習相談の充実に努める。

また、「宇都宮市生涯学習情報提供システム」（通称「マナビス」）を有効活用し、より充実した学習情報の提供に努める。

◇評価指標 ⇒ 学習相談件数、生涯学習センターへの登録件数（団体・講師）

## エ 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進

市民の地域に根差した学習活動を推進するため、各種ボランティア等の養成を推進するなど、地域で活躍できる「人づくり」の充実に努めるとともに、地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づききっかけとする「地域学講座」の実施・充実に努める。

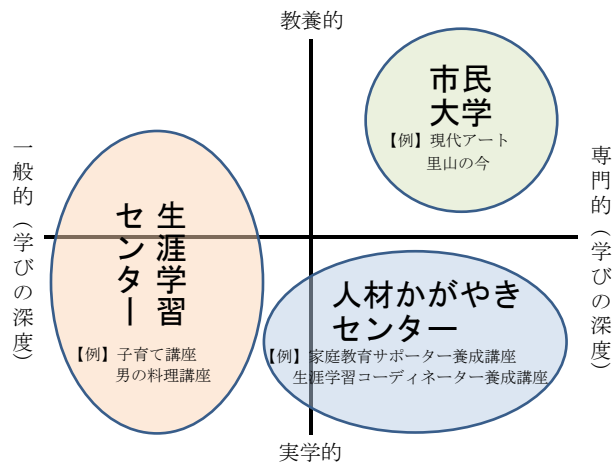
また、講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）をはじめとする、学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような活動機会と場の提供に努めるとともに、マナビスに搭載されている地域人材マッチング機能を効果的・有効的に活用し、地域住民同士や関係団体等をつなぐネットワークシステムの構築に努める。

◇評価指標 ⇒ 地域理解を目的とした講座数、指導者養成を目的とした講座数

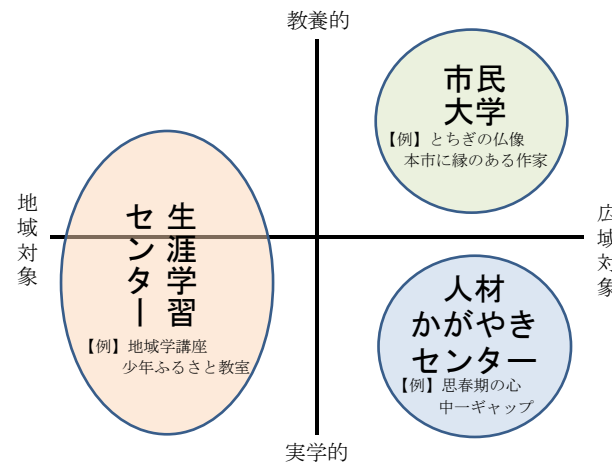
項目	平成27年度からの変更点とポイント
<p>(1) 生涯学習センターの役割と課題</p>	<p>※ 『<u>「社会の要請」と求められる学習について</u>』の提言中の早急な対応が必要な課題について明記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に対応が必要な課題とされる「超高齢化社会」, 「子育て・子育て環境の変容」, 「格差社会や勤労観の変容」, 「規範意識・社会性の低下」, 「地域コミュニティの変容」の5項目を記載した。</li> </ul>
<p>(2) 事業運営のポイント</p>	<p>※ <u>項目名を「各生涯学習センターの役割」から「事業運営のポイント」に変更</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの役割については, (1) 基本的な考え方に記載されているものとし, 「事業運営のポイント」とすることで, 事業運営の取り組む際の具体的な注意事項について記載する項目とした。</li> </ul>
<p>(3) 重点的に取り組む事業</p>	<p>平成27年度からの変更点とポイント</p>
<p>ア 人間力の向上</p>	<p>※ <u>「県の事業の活用」について追記</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本的な考え方」に明記したため, 『「社会の要請」と求められる学習について』の提言という文言を削除した。</li> <li>・社会の要請に対応した講座の実施にあたっての注意事項として, 「県の事業の活用」について追記した。</li> </ul>
<p>イ 家庭・地域の教育力の向上</p>	<p>※ <u>「親子双方の育ちを支援する講座」という文言を追記</u></p>
<p>ウ 学習情報拠点としての充実</p>	<p>※ <u>変更なし</u></p>
<p>エ 人材育成と学習成果の活用の促進</p>	<p>※ <u>講座企画・運営ボランティアスタッフについて追記</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から新制度になった「講座企画・運営ボランティアスタッフ (Vスタッフ)」について追記した。</li> </ul>

各種生涯学習講座が重点的に担う領域のイメージについて（平成25年10月）

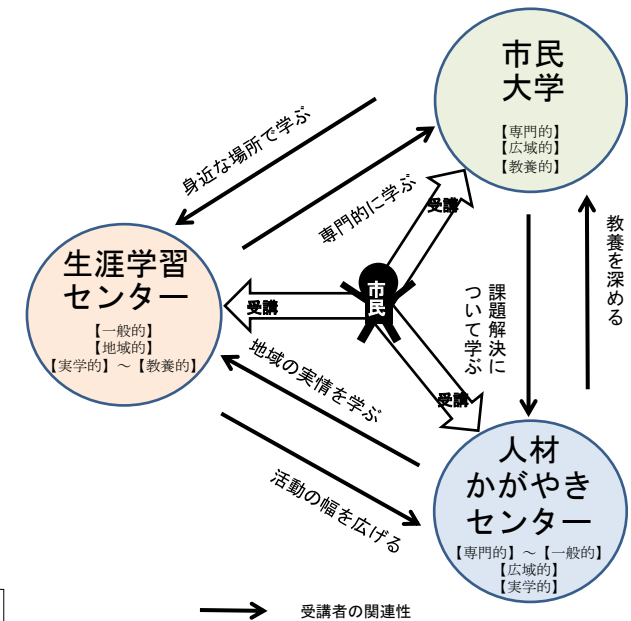
① 講座の内容（学びの深度）による区分



② 講座の目的（対象）による区分



③ 各種講座の関連性について



【生涯学習センター】

- ・「実学的」な講座を主として、「教養的」な講座まで、幅広い領域を担う。
- ・「一般的」なレベルの領域を担う。

【人材かがやきセンター】

- ・主に「実学的」な講座の領域を担う。
- ・「一般的」な講座から「専門的」な講座まで、幅広いレベルの領域を担う。

【市民大学】

- ・主に「教養的」な講座の領域を担う。
- ・「専門的」なレベルの領域を担う。

【生涯学習センター】

- ・市民生活の場である「地域」的なテーマの講座を展開する。

【人材かがやきセンター】

- ・本市の地域教育推進拠点であり、「広域」的なテーマの講座を展開する。

【市民大学】

- ・全市民を対象としており、「広域」的なテーマの講座を展開する。

## 提言書

# 「社会の要請」と 求められる学習について

平成26年10月  
宇都宮市社会教育委員の会議

### 提言にあたり

我々を取り巻く社会環境は、長期にわたる人口減少局面を迎えており、今後、高齢化率の増加や生産年齢人口割合の減少など、少子・超高齢社会への著しい変容が見込まれている。経済環境については、政府は日本経済の持続的な成長を確固たるものにすべく、平成26年6月に『「日本再興戦略」改訂2014』を閣議決定し、企業の収益水準・生産性の向上や女性のさらなる活躍促進などに断固たる決意で取り組んでいるところである。このような中、新興国における産業基盤の蓄積に伴う国内産業の競争力の低下、非正規雇用比率の増加に伴うワーキングプアといわれる若者の増加、消費税率の引き上げに伴う個人消費の反落など、持続的経済成長社会の実現を期待しているにもかかわらず、不安的要素も払拭できない状況である。

宇都宮市においても、総人口は平成29年にピークを迎えた後、人口減少に転ずるものと予測されており、平成42年には、65歳以上の高齢者の割合が29%に達する見通しとなっている。行政では、このような人口減少時代の到来を見据えた上で「第5次宇都宮市総合計画」を策定し、「みんなが幸せに暮らせるまち」「みんなに選ばれるまち」「持続的に発展できるまち」の実現をまちづくりの目標として掲げ、魅力あふれる宇都宮の構築に向けて取り組んでいる。

我々は、宇都宮市の社会教育委員として、こうした社会・経済環境の変化を踏まえながら、一人ひとりが豊かな人生を送れる社会を構築するためには、社会教育・生涯学習の振興を通じた「人づくり」が緊要であると考えている。

社会教育・生涯学習の振興を通じた「人づくり」とは、「社会の多様性を尊重しつつ、幅広い知識や柔軟な思考力、課題を解決する力（自立した個人としての力）」とともに「社会性や公共性、豊かな人間性など、個々人が社会の中で他者と連携・協働しながら様々な課題や問題を乗り越えていく力（社会を構成し、運営する力）」の養成である。

これらの「人づくり」を、迅速かつ的確・着実に推進するためには、多くの市民が解決していかなければならない社会的課題や、それらを解決する上で必要な学習について、教育行政に携わる社会教育委員として、それぞれの立場から議論・検討し、方向性を導くことに、大きな意義があると考えている。

このようなことから、社会教育委員の総意として、本市において可及的速やかに取り組むべき学習課題、いわゆる『「社会の要請」と求められる学習について』ここに提言する。

## 〔提 言〕

### 1 「社会の要請」の高まり

近年の社会・経済環境の変化を背景として、特に以下に述べるような課題において早急な対応が必要である。

#### (1) 「超高齢社会」への対応

急激な高齢化の進展の影響は、医療や介護、年金等の社会保障制度の対応が大きな課題であるだけでなく、高齢世帯の増加や高齢者の一人暮らしによる社会的孤立、活躍場所の不足など、地域社会における身近な課題としてあらわれている。

#### (2) 「子育て・子育て環境の変容」への対応

少子化や核家族化、また高度情報化などの社会状況が、地域社会などにおける子どもの育ちをめぐる環境や、家庭における子育て環境を変化させている。また、これにより、子ども同士が遊びに集中し、互いに影響しあって活動する機会の減少など、人間関係の希薄化や体験活動の不足により、自立意欲や社会適応力に欠ける青少年の増加が懸念される。

#### (3) 「格差社会」や「勤労観の変容」への対応

家庭の社会経済的背景が、その後の就労をはじめとした「格差」や「貧困」などにもつながるとの指摘がされており、子どもの将来や老後の生活に不安や孤立を感じ、悩みを抱える家庭が増えている。また、雇用情勢の変化の影響が、若者の勤労意欲や社会の活力低下につながることで問題となっている。

#### (4) 「規範意識・社会性の低下」への対応

家族形態の変容や都市化、情報化の急速な進展、価値観やライフスタイルの多様化を背景として、近所づきあいなどの住民同士の交流に対する意識が希薄になっている。また、これにより、地域における歴史・文化の継承の途絶や、地域社会における規範意識の低下が問題となっている。

#### (5) 「地域コミュニティの変容」への対応

地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識の希薄化は、地域コミュニティにおける互助・共助機能の低下を招くだけでなく、若い世代の地域活動への参加率低下や多様化する地域の課題に関心を持たない、積極的に関わろうとしない大人の増加など、地域コミュニティの自治機能を衰退させる原因となっている。

### 2 必要とされる学習

これらの課題に対して、必要とされる学習は以下のとおりである。

※（ ）は関係する課題

#### (1) 子ども・青少年に関わる課題に対する学習

##### 多様な体験活動

（「子育て・子育て環境の変容」、「規範意識・社会性の低下」）

子ども・青少年においては、様々な学習を積み重ね、多くの人との出会いを通して、成人としての自己を築く時期であり、学校、家庭、地域が相互に連携・協力し、ボランティア活動や体験活動、世代間交流の促進など、子どもたちが社会に関わる多様な体験活動の機会を創出していくことが必要である。



こうした課題に対する学習において最も大切なことは、人間同士の直接の触れ合いである。実社会においては、生活体験・社会体験・自然体験などのあらゆる場面における直接体験こそが重要であるとともに、体験活動を通して「思いやり」や「礼儀正しさ」など、日本人が古来大切にしてきた規範意識や道徳心の醸成も図っていく必要がある。

#### **職業観・勤労観の醸成**

(「格差社会」や「勤労観の変容」)

青少年が職業に就き、社会経済的に自立することは、社会を生き抜く上での基盤であるとともに、社会にとっても持続的な発展を続ける上で欠かせないものである。雇用情勢が不安定となる中、行政においては、学校や企業など多様な機関と連携を図りながら、青少年の職業観・勤労観の育成や職業に関する知識・技術等の習得を支援することが必要である。

### (2) 成人に関わる課題に対する学習

#### **子育て支援、家庭教育支援**

(「子育て・子育て環境の変容」, 「格差社会」や「勤労観の変容」)

格差の進行や貧困など、家庭を巡る状況の変化は、個々の家庭の頑張りや努力だけでは対応が難しい社会的問題となっており、こうした課題にあたっては、行政においては、教育分野と福祉・労働・保健等の各分野が連携・協力し、親子の育ちを一層支援していくことが必要である。

#### **大人の道徳観の醸成**

(「規範意識・社会性の低下」, 「地域コミュニティの変容」)

周囲の人や地域とのつながりを持たない大人が増加しており、大人自身の気づきや意識の変容が必要である。地域社会を構成する一員としての責任や役割を自覚し、子どもや他の大人の模範となれるよう、モラルやマナーなど規範意識を高めるとともに、道徳観の醸成を図る取組を一層推進していくことが必要である。

### (3) 高齢者に関わる課題に対する学習

#### **豊かな人生に向けた多様な学習の提供**

(「超高齢社会」)

高齢者がリタイア後の人生を明るく安心して生活するためには、健康で生きがいのある生活と地域社会との関わりが必要である。こうしたことから、高齢者に対する学習については、生涯学習センターなどの地域の様々な関連施設が、コミュニティビジネスを含めた高齢者の生きがいの創出につながる講座や、近年大きな問題となっている高齢者を狙った特殊詐欺に関する講座など、多様な学習プログラムを企画・提供することが必要である。

高齢者の学習については、身体的事由や意欲の低下など、学習活動の参加が困難な場合もあることから、積極的な学習機会の提供や学習者の興味・関心を呼び起こすための啓発活動など、きめ細かい配慮や工夫が必要である。

#### (4) 地域住民に関わる課題に対する学習

##### 地域コミュニティの強化

(「超高齢社会」、「規範意識・社会性の低下」、「地域コミュニティの変容」)

生活環境の整備や防犯・防災など、個人の力では解決できない様々な地域の課題に対応していくためには、日頃から地域の住民同士がつながりを持ち支え合い、助け合う「互助」・「共助」の関係のある地域コミュニティの構築が必要である。特に、超高齢社会の到来により、地域コミュニティの役割や期待は益々高まってきており、地域における様々な課題の解決を目的としてコミュニティが結びつき、多様性のある地域コミュニティの形成が必要である。

行き過ぎた個人主義の風潮や社会全体のつながりの希薄化等が問題となっている近年においては、郷土愛の醸成や地域学講座など、今一度住民が地域に目を向け、地域と向かい合うことができる取組を通して、地域コミュニティの強化を図ることが必要である。

### 3 おわりに

この提言は、冒頭でも述べたように、社会教育・生涯学習の振興を通じたこれからの人づくりを推進していく上で解決していかなければならない社会的課題や、必要な学習について議論・検討し、とりまとめたものである。

人づくりにおいては、教育委員会に限らず、市役所の他部局や関係機関などにおいても様々な取組が展開されており、それらの連携・協働は相当に進んでいるものの、急速な社会・経済環境の変化における社会的課題の解決に向けた、多様な主体との連携・協働は、必ずしも十分に進んでいるとは言い難い状況であると考えている。

今後、社会教育行政が、社会教育・生涯学習の役割を各地域において目に見える形で示していくためには、地域住民の絆の構築、地域コミュニティの形成、地域課題の解決といった地域の総合的な課題に対応できるよう、地域の多様な主体との連携・協働によるネットワークの構築を一層推進していくことが必要であり、行政においては、本提言を踏まえ関係部局が連携し、効果的な取組が推進されることを期待し、提言するものである。

#### 宇都宮市社会教育委員

上野 修一, 吉田 治, 宇賀神 貴, 勝田 健一, 刀川 啓一,  
伊藤 三千代, 今井 政範, 小池 操子, 福田 治久, 廣瀬 隆人,  
榎 澁江, 河田 隆, 坂本 宏夫, 佐々木 一隆, 荻野 久一,  
山尾 貴則, 橋本 裕文, 高橋 美幸, 清島 康伸, 小平 美智雄

(順不同)